第149回　清原マンスリー（12H×3R　Par 42×3）

NET順位		AM			PM	GROSS	HC1 (par 108)	HC2 (Par 117)	NET
		①	②	ST	①				
1	大島竜也	39	41	80	43	123	12.59	14.72	108.28
2	大垣芳昭	49	50	99	47	146	29.40	34.40	111.60
3	兼弘真由実	44	48	92	49	141	24.19	28.30	112.70
4	五味渕一彦	43	47	90	45	135	16.87	19.74	115.26
5	須田貴芳	41	41	82	42	124	7.34	8.59	115.41
6	六本木孝道	37	38	75	39	114	-3.28	-3.84	117.84
7	阿久津英隆	43	50	93	47	140	17.78	20.81	119.19
8	松田英明	39	37	76	37	113	-5.97	-6.98	119.98
9	川崎篤人	37	38	75	39	114	-7.40	-8.66	122.66
10	木宮玲子	48	45	93	49	142	13.41	15.69	126.31
11	佐藤幸子	46	46	92	43	135	6.84	8.01	126.99
12	高田　浩	52	46	98	49	147	15.47	18.10	128.90
13	木宮秀生	44	50	94	51	145	10.19	11.92	133.08
	櫻井康生	42	42	84		84			
	渡辺洋子	54	53	107		107			
	花園賢一郎	43	66	109		109			

GROSS順位		AM			PM	GROSS	
		①	②	ST	①		
1	松田英明	39	37	76	37	113	-13
2	六本木孝道	37	38	75	39	114	-12
3	川崎篤人	37	38	75	39	114	-12
4	大島竜也	39	41	80	43	123	-3
5	須田貴芳	41	41	82	42	124	-2
6	五味渕一彦	43	47	90	45	135	9
7	佐藤幸子	46	46	92	43	135	9
8	阿久津英隆	43	50	93	47	140	14
9	兼弘真由実	44	48	92	49	141	15
10	木宮玲子	48	45	93	49	142	16
11	木宮秀生	44	50	94	51	145	19
12	大垣芳昭	49	50	99	47	146	20
13	高田　浩	52	46	98	49	147	21

☆ 関東OPの熱気覚めやらぬ清原で相変わらずの酷暑の中、149回マンスリーが開催され16名の命知らずが集まりました。
コースデザイナーは歴代のマンスリーでも最難度のひとつと考えていましたが、トップ選手にはなんのその、二桁アンダーを記録されてしまいました。

☆ ネット優勝は大島選手。手元にある記録をさかのぼっていますが、ここ3～4年は優勝がないので久々ですね。実力は皆さんご承知と思いますのでちょっと意外でした。ひじを痛めているので普段のパットができないとこぼしていましたが、今のほうがよいのでは？　とにかく、おめでとうございました！

☆ 観戦子は慢性になりつつある腰痛のため2R途中でリタイアし、午後は本当の観戦客になりました。グロス優勝を争うのは、トップに並ぶ六本木選手と川崎選手を1投差で追う松田選手。　大蛇と大百足に巨大蛭を加えたかのごとき三つ巴の戦いはマンスリーと思えない熱気で非常に見ごたえがありました。
途中2ホール連続でイーグルを取る松田選手。手堅くとるべきところでバーディをとる六本木選手と川崎選手。一進一退の攻防が続き残すところあと2ホールで3人が並ぶ大接戦。　迎えた11番ホールは64mと距離は短いもののゴール前を木立が阻んでいるテクニカルなホールで、軽いハイザー、ストレート、フォアハンド、いずれを投げるか思案する場面。ここで考え抜かれた技ありのフォアでゴールの左6mにつけた川崎選手がバーディを取り1歩リードで最終ホールへ。
常設7番ゴールの横から関東OPのために抜かれた常設8番ゴール上をまっすぐ90mの林間のあと左へ直角に30m強のPar4のナチュラルなドッグレッグホール。
守りに入ったのか川崎選手のティーショットはやや置きにいったようでショートし林間に、六本木選手も珍しく力んだかコースの右側にある木立につかまる。
松田選手は悪いスローではないものの25mほど手前でつかまりやはり林間を抜け切れない。川崎選手が2投目3投目も苦戦し8m強のパーパットを残すのに対し「目を瞑って投げる」と宣言した六本木選手のアプローチは見事に木々の間を抜け8mにつけるスーパーショット。松田選手もさせどころが難しいスキップスローで見事にゴール右5m。川崎選手と六本木選手のパットがゴールに嫌われたのに対し、松田選手の片膝パットがあざやかに逆転優勝のチェーンを鳴らしました！

☆ 来月もいつも通り第4日曜の26日です。